

## 様式第6号(第2条関係)

## 委員会等の会議録

1 会議名	愛南町西海地域審議会	
2 議題	(1)新町建設計画について (2)その他	
3 開催日時	令和5年2月8日(水) 14時00分から15時30分まで	
4 開催場所	西海支所 2階 大会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	手塚 新一郎、吉田 茂俊、内田 留美、坂本 多美子、猪野 崇、 松田 恵子、伊田 紀子、伊田 ふみ ※2名欠席(吉田 さとみ、高橋 翔)	
7 担当所属	所属名	企画財政課
	担当職員 (職・氏名)	課長 清水 雅人 課長補佐 山口 秀一 課長補佐 尾崎 光弘
8 その他の 出席職員	所属名	西海支所
	出席職員 (職・氏名)	支所長 伊田 光洋
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
清水町長	(開会挨拶)
山口課長補佐	出席者の紹介
山口課長補佐	<p>早速、議事に移ります。</p> <p>1 番の会長及び副会長の選出についてですが、規則の規定に基づき、この会を代表する会長、そして、会長を補佐する副会長を選出したいと思いますが、事務局から推薦をさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員一同	(了承)
山口課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、事務局から推薦させていただきます。</p> <p>会長に手塚委員、副会長に吉田茂俊委員をそれぞれ推薦いたします。皆さん御了承いただけますでしょうか。</p>
委員一同	(拍手にて了承)
山口課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ここからの議事進行は、規則第4条の規定により、手塚会長をお願いいたします。</p>
手塚会長	<p>それでは、次第に沿って審議を行いたいと思います。</p> <p>議事の2、愛南町新町建設計画の進捗状況について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>また、本件の質問等につきましては、全ての説明終了後に受けますのでお願いいたします。</p>
山口課長補佐	(資料1「新町建設計画の進捗状況」について説明)
手塚会長	ただいま、事務局より説明がありましたが、何か御意見、御質問等はございませんか。
手塚会長	なければ、続いて議事の3、その他を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。
山口課長補佐	(資料2について説明)
手塚会長	ただいま、事務局の説明がありましたが、御意見・御質問等はございませんか。
伊田委員	最近、高齢者支援課に相談があるという高齢者の身内の方から相談を受けたんですが、本人が窓口に行くことが困難な方がありましたので、私が支援課へ連絡して支援課からその方のお

発言者	発言内容
木原副町長	<p>宅へ行ってもらうように話したのですが、そういうふうには支援課に来てもらったなら説明しますというのは大変だということを知って、行くのが難しい方には役場から行ってもらうのがいいと思います。</p> <p>ごもっともな意見だと思います。行きたいけど行けない状況の方もいることは事実です。高齢者支援課の中に、地域包括支援センターという高齢者のいろいろなあらゆる御相談に乗れる部門があるので、そこに声をかけてもらえれば出向いていくと思いますので、その辺も含めてもし出向けない場合には、そういうところに直接相談してください。そういう対応を考えていきたいと思っています。</p>
手塚会長	<p>ほかに御意見、御質問ないでしょうか。</p>
松田委員	<p>防災について回答をいただいたんですが、計画作成に当たっては、住民意見表明制度の活用って書いてあるんですけど、これはパブリックコメントになるということでしょうか。</p>
山口課長補佐	<p>そうです。</p>
松田委員	<p>それでは、避難場所として西海地区でやってみよう、それぞれの地区でやってみようっていう形は難しいということでしょうか。</p>
木原副町長	<p>去年、そういう御意見をいただいて、本当にもっともだと思うので、愛南町として指定避難所は、学校の体育館等々を指定して、そこに例えば、何百人可能というような計画はあるけども、実際その何百人がどこの方々が来て、どう埋まるのかという根幹の計画がなかったのが、去年の意見も踏まえて今年の予算にも計上して、業者も含めて今ようやく完成に向かって動いているところなんですけど、例えば、西海中の旧学校の体育館であつたら仮に千人収容できるとして、そのときに津波もL1という百年に1度の津波と、千年に1度ぐらいのそれこそ大きな御荘湾で言えば9mぐらいの津波が来ると言われる両方を想定して、例えば、L1津波のときには福浦のどの辺までの方々が津波の影響を受けて、そこに住めなくなるであろうと、そしてたらその人達は、西海中学校に何名収まるのかというようなのを各それぞれの集落で計算をして、そこを埋めていきながら、もし千年に1度の大きな津波のときにはもっと被災されるであろうから、その方々が増えると、そうなったときには、そこだけでは収まらないとなれば、別のところもというような今まさにその計画を作っているの、それが一応たたき台として本当に町内の避難場所に町内の被災者が収まり切るのかどうかも見えてないんで、まずはそれを作って、それに対して意見をいた</p>

発言者	発言内容
松田委員	<p>だきながら、新たな次なる展開を考えていけないといけないという状況にはあります。だから西海の地域の方が本当にこの船越小学校と旧西海中の体育館に収まり切るのか、あわよくば余裕があるのであれば、中浦の人も来れるのか。そういうベースとなる計画がなかったんで、今それを策定中ということでもうしばらくお待ちください。</p> <p>今、木原副町長が言われたみたいに、今こういう現状でこれぐらい進んでいるよっていう、そういう情報が「ある」「ない」で、住民の方は全然違うと思うので、できたらそういうことも定期的に情報発信をしてほしい。でも、なかなかホームページも、自分で防災避難計画の作成とか書いてあるとおりその部分のアプリに行こうと思うんですけど、なかなか行けなかったんですよ。正直これ分りにくいなと思っていたら、去年の年末から防災減災のワークショップだったり、あと移住定住のワークショップだったりしてもらったことで、ちょっとまたアプリの部分が増えて、あれで結構入りやすくなったので、そういう情報発信の仕方っていうのも考えてください。私らはそうやってアプリでいくことができるけど、それができない高齢者の方たちだったり、そういう方たちにどういう発信の仕方をすれば、すくい取ってもらえるか。知らなかったから仕方がないんじゃないくて、そういう部分をもうちよっと丁寧にやってもらえたら、みんなもうちょっと自分たちの住んでいる町のことに興味を持ってもらえて、頑張っていこうかというようになって、またそれで繋がっていってもらえると思うんで、そういう部分をまたよろしくお願いします。</p>
木原副町長	はい、分かりました。毎回貴重な意見をありがとうございます。
手塚会長	その他、御意見、御質問ありますでしょうか。
内田委員	<p>高齢者のことですが、子育てには支援が何でもいろいろあるけど、お年寄りにはそんなにないじゃないですか。お年寄りのことをもう少し考えてほしいと思うんですよ。子育ては産めよ産めよで、産んだらいくらもらえとかいろいろあるじゃないですか。こういうのがお年寄りにはないんです。私は、民生委員でお年寄りを訪問していますが、見ていたらすごく悲しいんです。これでやっていけるのかなあと思ったりとか、いろいろ思うんですよ。貯めてなかったら貯めてないって言われたらそれまでなんですけど、やっぱし老後も、そういう子育てばかりじゃなくて、お年寄りのほうにももう少し目を向けてもらえたらと思います。</p>
木原副町長	異次元の子育て政策は表に出るけど、異次元の高齢者政策と

発言者	発言内容
手塚会長	<p>は言われないので、その辺がなかなかですね。</p> <p>今、子どもの話がちょうど出たので、今の子どもの環境って昔とは全然違っていると皆さん御存じだと思うんですけど、想像以上にこれからの子どもたちに不安視する訳ではないんですけど、きちんと丁寧に関わって行ってあげないと大変なことになるなど現場の者として実感しているところでもあります。子どもたちは、どんどん少なくなっているんですけども、やっぱり未来を創るのが今の子どもたちなので、そこにどういようなことができるかっていうのは、住民全体で深く考えていく必要もあるなと思っていますので、これからもぜひ高齢者と同じように子どもたちもよろしくお願いします。</p>
手塚会長	<p>その他、御意見、御質問ないでしょうか。</p>
濱本委員	<p>教員住宅を現地確認していただいたみたいですが、退去して10年経って直すのにお金がかかります。今から閉校の学校が増えてきますが、閉校学校のその後の計画とかはできていませんか。旧菊川小は社協が入っていますが、あんな感じで使ったら教員住宅のようにならないと思います。閉校になった学校をできるだけ早く何かに使えるように計画を作ったら教員住宅のようにもったいなくならないのですがどうでしょうか。</p>
清水町長	<p>学校も耐用年数がありますが、手を加えて改修したら使える学校と、改修できない学校とがありまして、改修できないものについては解体を行っています。中浦の学校辺りがそうで、赤水もそうです。西海では、福浦の学校がありますが、福浦は海抜が低いし、建物そのものが古いので改修は難しいでしょうか。</p> <p>この船越小学校であればもちろん新しいし、高台にあるし、あと避難所としても使えるというところですが、条件が揃っている建物は使うようにはしています。</p>
木原副町長	<p>でも、地域の人がこういう活用方法があって、こう使いたいっていう御意見があって、それならぜひっていう話になれば、改修してでもそういうリスクはあるけど、使ってもらうことは可能なので、地域優先で考えてもらうということでもこの学校にも振ってますけど、なかなか大きな建物であるだけに地域も使い勝手が簡単にはいかないんで、自然と空いてしまうというところが多いんですけど、ぜひいろいろな拠点として、福浦は閉校になるとは限りませんが、福浦ならではの使い方も考えていただいたらと思います。</p>
清水課長	<p>今この問題というのは、空きの公共施設の使い方ということで、総務課が担当になるんですけども、一つの基準を設けていて、先ほど副町長が説明したように一つは地域でどのように使</p>

発言者	発言内容
	<p>いたいかということの希望をとるということで、それから後に売却とかほかの企業に貸すという手だてがあれば、そこを模索するような形にしています。例えば、旧中浦小学校なんですけど、既に地域で将棋教室の生徒さんの合宿に毎年使うように改修しています。それはまた、別の補助金があるんですけど、そのような補助金を活用して、中身を変えて、シャワールームを作って、畳を張り替えて、冷暖房も付けてというようなことで地域を盛り上げようというようなことをしていますので、またそのような案がありましたら学校教育課若しくは公民館を通じて、要望とかしていただいたら、町のほうもアドバイスができると思いますので、よろしくをお願いします。</p>
伊田委員	<p>今、高校とかの規模を小さくするような合併の話がありますよね。そういうような感じで、今の段階で愛南町で、ここの学校の子どもたちがこっちにっていうような案は、具体化しているのでしょうか。</p>
木原副町長	<p>小中学校については、一部そういった再編計画は出ています。</p>
伊田委員	<p>すごく思うんですけど、いじめとか差別問題とか、そういうようなのが、今私たちの子どもの時代になってますけど、すごく大きな学校であれば、余計に目立ちにくいっていう心配があるんじゃないかと思って、けど小さい学校だったらそれがなくていいということも言えないので、そこはとても難しいと思うんですけど、大きな学校にしてしまうっていうのもすごい心配だと思います。孫の時代にはなるんですけど、手を出せないので余計に心配なところもあります。予算面でっていうだけではなくて、いろんなことを考えてそれをやってもらいたいと思います。</p>
木原副町長	<p>小さなところがいいのか、大きなところがいいのか、二つの人生を歩むことができないので、どっちが良かったとも言えないし、難しい問題だと思います。</p>
松田委員	<p>大きいところに行っても、小さいところに行っても、どっちに行っても自分がしっかりたくましく生きていけるように、やっぱり今からはコロナも含めて、何があってもおかしくない状況だということは、今回みんな学ばせてもらったと思うので、その部分を踏まえて、自分でしっかりやっていくには、私らができるサポートって何かなっていうことを考えるところです。</p>
清水町長	<p>昔の育て方といったら、家庭の中に怖い人がいたじゃないですか。だから、本当は怖い人がいないといけないと思います。家庭の中で、そういう人がいたので我々の子どものときはいじめとかがあまりなかったと感じます。本当に命に関わるような</p>

発言者	発言内容
手塚会長	<p>ことはまずなかったと思います。子どもが少なかったらやっぱり大事に育てるし、あまり大事に過保護にするとまたいけない部分もあるし、そういうところは難しいですね。</p> <p>統廃合に関しては、人数が少なくなるから統合ということもあるんでしょうけど、やっぱり地域としての学校の役割って、まず子どもは地域の宝だし、学校もただ教育の場じゃなくて避難所にもなるし、地域の一つのコミュニティーの場所っていうかそういう役割もあるので、そこも考えたり、福浦地域ってすごく住民の方の繋がりが強くて、防災関係にしてもそうですし、子どもたちがお年寄りの家に行ってお弁当配ったりとか、そういう活動も社協としてたり、本当に地域全員で子どもを見てるといのがすごく伝わってきて、その中にいる子どもってすごく幸せだなと思っています。そういった地域の中の学校の在り方とかも考えながら、今再編計画があると思うんですけど、その小学校の保護者だけじゃなくて、地域の区長さんとか地域の住民、それと今から小学校に入る保育園の子どもたちの保護者とか、もう地域全体と話し合っていた方がいいなと思います。</p>
清水町長	船越の人の立場からしたら、福浦と全然違うと思いますか。
手塚会長	いや、船越は船越でいいんですけど、福浦は本当にのびのびしてるなっていう印象があります。
手塚会長	ほかにないでしょうか。
内田委員	町のほうで納骨堂が欲しいっていうような話を聞いたことないですか。
清水町長	聞いたことはないです。
内田委員	<p>私たちが友達と話すことといたら年金の話とか、普通にあと何年生きられるかなとか、この年になるとそういう話になるんですよ。そして、よそに行って子どもが帰ってこない、見てくれる人がいない、そういう人は自分たちのことがすごく不安なんですよね。だから松山とかに行ったら、今は納骨堂とかあるじゃないですか。ああいうのが愛南町にあったらいいんじゃないかなと思います。町がしなくても、業者を呼んで、そして、宗派は問わない。愛南町にそういうところがあってもいいんじゃないかなっていう声がみんなからあります。</p>
木原副町長	初めて聞きました。確かに理想形でしょうね。この間テレビを見ていたら、逆にそういう宗教法人が入居が入るつもりで大きなのを作っておいて、思ったほど入居者がなくて破綻したと言っていました。

発言者	発言内容
手塚会長	<p>多分、納骨堂ということは、墓地と同じ感覚になるので、設置できるとすると自治体か宗教法人しか多分できないので、個人ではできないから、やっぱり町か大きな宗教団体でも計画しない限りは無理だと思いますが、また気にしておきます。</p> <p>ほかにないでしょうか。 それでは、引き続き事務局より説明がありますのでお願いします。</p>
山口課長補佐	(資料3について説明)
手塚会長	ただいま事務局より説明がありましたが、この件について、御意見、御質問はありませんか。
松田委員	地域おこし協力隊っていうのは、愛南町出身で1度県外へ出て県外で就職して、その後帰ってきても協力隊になれるんですか。
山口課長補佐	細かい指定地域の表がありますが、都市部から来ていただくのが条件になりまして、過疎地域からまた地域っていうのは認められない場合があります。指定地域からであれば、Uターンの方でもかまいません。
手塚会長	この地域おこし協力隊で4年度は、7名と増えているようですが、学校教育課の3名というのは、学校のコーディネーターみたいなことをされるんですか。
山口課長補佐	これは今、南宇和高校で魅力化推進事業に取り組んでいまして、その関係の隊員となっています。
手塚会長	僕の知り合いが、内子で地域おこし協力隊をやっているんですけど、その人が言っていたのは、小田かどっかの高校のコーディネーターで入って、それまで生徒数がすごく減少してたのに、それが増えたという移住者というか、留学みたいな形での成功事例というのは聞いたので、これはいいなと思って、ぜひ南宇和高校もこういうふうになればいいですね。
木原副町長	今おっしゃられるとおり、南宇和高校の今の生徒数の中で、今は3人ですけど、また4月からは2人加わって、5人体制になるということです。土曜日とかにその方々が支援してくれるということで、その方々の経歴もすばらしく、本当なのって思うような方々が来られています。ああいう方々にほぼマンツーマンのように指導していただいたら、すごく伸びるんじゃないかなと思っています。だから、ものすごく期待しているんですけど、本当に南宇和高校に進学を目指そうとする人にはいいと思いま



発言者	発言内容
伊田委員	<p>す。</p> <p>以前のサッカーの人気のときのようですよ。今、いろんな報道がされるのに、南宇和高校のことも結構新聞とかに載りますし、ああいうふうに中学を卒業する子どもたちが、だんだん少なくなってくる中で、宇和島に行っている子がかかりいますが、本人たちが行きたいって言えば、親は行かしてやりたいと思うのは仕方ありませんが、最長3年ということですので、もしそれが長く南宇和高校で教えてくれるということが確実にあるなら、宇和島に行かなくても南宇和高校でいいんじゃないかと思います。</p>
清水町長	<p>愛南で育った子どもは、みんな南宇和高校で学んでもらうというのが町としての目的になります。</p>
伊田委員	<p>その上で向こう(宇和島市)から逆に来てくれるようになったらいいと思いますね。そういうふうなすごい人が来てくれるとなれば、余計になるべく3年と言わずにおれるようにできないんですかね。</p>
木原副町長	<p>おってもらえたらこの上ない限りですけど、一応3年という枠で来てもらっていますから。</p>
手塚会長	<p>ほかに御意見、御質問ないでしょうか。</p>
伊田支所長	<p>地域おこし協力隊の話が出たので少し話させてください。</p> <p>西海支所のほうで、令和5年度地域おこし協力隊を募集しております。先月の24日にホームページには掲載しておりますが、旅客船の観光振興ということで地域おこし協力隊を募集しております。内容に関しましては、海中公園は、昭和40年夏にグラスボートの運営を始めまして、昭和45年に日本初の海中公園、鹿島周辺地域が海中公園で初めて日本初指定されて、昭和49年には16万人の観光客を集めていました。そのあと平成3年には3万5千人まで減少したことで、平成4年から平成8年にかけて、ガイヤナ・ガイヤナ2・ユメカイナと観光客増加に繋がるような取組を行いました。現在はコロナの影響もあります。</p> <p>コロナ前でも1万人、今は5千人程度と観光客が減少しておりますので、新しいスポットの発見など、観光客増加に繋がるような特化した取組として今募集しております。今のところ岡山県から1件の問い合わせと、東京の方とは人脈で交渉している状況です。できれば西海地域に定住していただけるように努力したいと思います。また、いい人脈がありましたら、この場で皆さんよろしくお願いします。</p>

発言者	発言内容
伊田委員	鹿島のほうの海で、外海では冬は海が荒れるんで分かりますが、冬は役場のほうでの運用なんですか。
伊田支所長	運行規程というのがありますので、波の高さとか、風速とか、視界もありますので、冬場はほとんど基準がアウトになりますので、冬場はほとんどこちらの小浦コースで運行をしています。
伊田委員	この場所が、よそから来た人には分からなくて、自宅の近くで私も聞かれて、役場の横っていうのを説明するのにすごく難しく、私の後について来てくださって言うては案内したのですが、途中で諦めてました。道路標識とかでも、冬場にはこちらですっていうふうなのを周知してもらわないと外泊が分からないということも聞かれたりします。高茂岬までの表示はあるんですけど、外泊の標識がないんです。だから、外泊も海中公園もPR不足というか、説明するのもすごく難しいので、それを感じました。ホームページで見てっていうのもホームページをみんなが見るとは限らないので、何か違う方法を考えてはどうでしょうか。
伊田支所長	ツイッターも4、5年前からやっておりますが、やはり見ない方もあります。確かに近くに行けば行くほど目印になるものがないと説明しづらいと思いますので、看板を確認します。
坂本委員	西海に住んでいながら、この海中公園は見たことがないんですけどきれいですか。
伊田支所長	最近、竜串でも乗って見たんですけど、そっちに比べたらやっぱり西海地域では、小浦地域もきれいだと思います。
坂本委員	地元もほとんどの人が、全然見てないんじゃないかと思います。
木原副町長	まず、来年の地域審議会は、先にみんなで見に行ったらいいと思います。
伊田支所長	昭和40年代当初は、グラスボートだったので、浅瀬のほうを見ていたんですけど、半潜水艇ですと浅瀬ですと座礁しますので、それでまた、グラスボートとかに戻したらまた見る範囲が広がってくると思います。
坂本委員	ちなみに、ここから出て帰ってくるまでに料金はいくらですか。
伊田支所長	600円ぐらいだったと思うんですけど、正確な金額は今ここに資料がありません。

発言者	発言内容
坂本委員	何分ぐらいかかりますか。
伊田支所長	45分くらいですが、行く場所によって時間が変わります。
手塚会長	小学生以下は無料ですよ。
伊田支所長	今は無料ですけど、小学生は半額で、家族で来たらすぐに1万円を超えます。
手塚会長	ほかに何か御意見はないでしょうか。
手塚会長	空き家バンクはすごくいいというか、やっぱりコロナの影響もあって、在宅勤務とかワーケーションとか、今またマッチングがすごくはやってる時代なので、この空き家バンクっていうのは今からどんどん期待できるかなと思っているんですけど、この空き家バンクに登録するのは、空き家に条件みたいなものはあるんですか。
山口課長補佐	物件自体に特に規定はありませんが、明らかにもう住めないような状態ですと、登録しても建替えが必要な家は、お断りすることがあります。
伊田委員	役場の近くの家は、売りたいんだけど、不動産屋さんに言えば、ここは売れません、津波が来たときに一番にやられるので、買い手がないと思うからって言われて、不動産屋さんからも手を引かれたっていう話を聞いたんだけど。
清水課長	ぜひ、空き家バンクに登録してみてください。
山口課長補佐	久良地区で出していた物件があったんですけど、ちょうど漁協の裏の辺りですけど、そこが年末ぐらいに成約したんですけど、購入されたのは、滋賀県の方でダイビングが趣味ということで近いし、利便性も悪くないということで成立した物件もあります。津波なんかのリスクもあるんですけど、そういった事例もありますので、もしかしたら、成約につながる可能性はゼロではないかなと思いますので、検討していただけたらと思います。
手塚会長	過疎化の地域でも、全国に目を向けたらやっぱりそこが魅力っていう方が必ずいると思うんで、そういうところもどんどん、アピールして行ってほしいなと思います。
内田委員	外泊に出したい物件はあるんですが、荷物がとにかく多いんです。荷物の搬出にはいくらかの補助があるんですよ。

発言者	発言内容
山口課長補佐	<p>搬出等は、上限で20万円あります。</p> <p>福浦の物件で、今ホームページに出している物件がありますが、この前、鹿児島の方で愛媛の南の方に移住を考えているっていうので、町内のあちこちを見てもらう中で、福浦の物件も見られて、その方は60代の方だったんですけど、やはり心配されていたのは、その住宅の敷地まで車が乗り入れられないっていうのと、家には荷物がかなり残っていたんですね。もう衣類から何から、本当にすぐに生活して支障のないようなものが置かれたような状態で、それはどうしても引き続き使えないということで、処分するのに多額の費用がかかるだろうねと心配されまして、話がうまく進まなかったっていうところはありません。</p>
伊田委員	<p>人によってだと思うんですが、今すぐ住める状態というか、荷物があつた方がいいですっていう人もいないのでしょうか。</p>
山口課長補佐	<p>傾向としては、他人が使っていたものはなかなかそのまま使いにくいというのがあります。中泊でも先日成約がありましたが、そこは荷物をきれいに整理してというか、処分してカラの状態でしたけど、そういった物件は決まりやすいです。</p>
手塚会長	<p>ほかに御意見、御質問はないでしょうか。</p> <p>議事以外でも、地域内で普段感じられていることなどでも構いません。何か御意見あればお願いします。</p>
伊田委員	<p>散歩を最近するのですごく気が付くんですけど、雪が降った後に歩くときに、歩道がすごく整備されてなくて、そのまま使ってるから、普通に歩いても坂になったり、デコボコがひどかったりしてて、子どもたちが歩く歩道の方を仕切ってるんですが、そういうところも壊れています。</p>
清水町長	<p>区長さんに声を掛けてみてもらったらどうでしょうか。</p>
伊田委員	<p>地区要望で出しても、1年、2年がかかりますよね。県道の歩道です。</p>
伊田支所長	<p>区長に相談し、現地を確認して区長の名前で土木事務所へ早めに要望します。</p>
手塚会長	<p>そのほかないでしょうか。</p>
吉田副会長	<p>この上の学校に上がる途中の町営住宅ですが、入居者の募集とかはかけないんですか。住宅の共益費ですが、入っている人</p>

発言者	発言内容
	<p>数で割るらしいんですよ。それで、今3件しか入っていないんですが、1件の負担が大きいそうです。</p>
伊田支所長	<p>特定公共賃貸住宅で、建てた頃の平成7年か8年頃は満室だったんですけど、今は確かに空きが目立ち出しまして、別の公営住宅でも共益費がいろいろと問題になっております。募集はしていますが、入居者がいないです。</p>
吉田副会長	<p>それを撤廃するってことはできないんですよ。あれは県か何かの補助でやっているんですよ。</p>
伊田支所長	<p>お金は国から補助金をもらっているんですけど、共益費に関しては、入居のときの条件で町営住宅の入居者で組織を作って、そちらで運営してくださいということで、どこの住宅もお願いしていますけど、将来的には確かに誰も住まなくなって1件、2件の状態になってきますので、また、担当課の建設課のほうに確認します。</p>
清水課長	<p>共益費の問題で、入居当初と今では条件が違うということを担当課へ説明して、対応ができるかどうか確認して文書にて回答したいと思います。</p>
手塚会長	<p>ほかに御意見・御質問ないでしょうか。 ないようですので、以上で議事を終了したいと思います。 委員の皆様には、議事進行に御協力をいただきありがとうございました。それでは、事務局へお返しします。</p>
山口課長補佐	<p>本日は、委員の皆様には熱心に御審議いただきましてありがとうございました。 これをもちまして、西海地域審議会を閉会いたします。 ありがとうございました。</p>